

コラム

「議会出身」の市長を訪ねて学ぶこと

議会から首長が生まれ、市のトップとして斬新な市政改革や街づくりに取り組む両市長のもとを伺い、現在の政策的取組みや市政への想いについて対談させて頂きました。既得権益に左右されず、外からの目線で市長になったからこそできる改革が確かにあると再認識できる機会となり、大いに今後の糧となる想いを強める場となりました。



川崎市・福田市長との対談

「地域政党サミット」を結成！

既存の国政政党とは一線を画し、地域に根ざして活動する全国の地域政党と連携し、各都市で活動する6団体と協力して「地域政党サミット（地域政党連絡協議会）」を結成（平成27年3月24日）しました。今後、勉強会やセミナー開催などを実施しながら地方活性化に向けた地域政党の確立を目指します。



本年度も議員団団長に就任

5名の交渉会派となり、京都党の二期目がスタートしました。今年度も引き続き京都党議員団の団長を務めることとなり、議員団の意見を取りまとめ、他会派との調整等に取り組んでおります。新メンバーと力を合わせ議会活動に取り組んで参ります。



プロフィール



- ・昭和60年10月生まれ
  - ・嵯峨野保育所
  - ・嵐山小学校（H9年度卒）
  - ・嵯峨中学校（H12年度卒）
  - ・北嵯峨高校（H15年度卒・27期生）
  - ・同志社大学政策学部卒業
  - ・株式会社ミスミ（東証一部）
  - ・平成23年、25歳初当選
  - ・京都市議会議員 着任
  - ・平成27年、2期目当選
  - ・京都党幹事長／京都党市会議員団団長
- 【関心のある政策】  
財政、教育、地域主権など
- 【尊敬する人】  
両親
- 【好きな食べ物】  
チーズおかし



京都市議会議員

江村りさ

第18号 市政活動報告書



納税者目線の「京都党」だから言える！

おかげさまで二期目に突入。議員団の団長に就任し、党を代表して議論の場に挑んでおります！



全国で不祥事の絶えない議会の現状から「議会改革」を掲げ、立ち上がり早5年。信頼ある議会運営に向け精力的に取り組むとともに、土日祝日問わず「四条通りの歩道拡幅」、「大雨による浸水対策」など行政への疑問・不満やご要望で地域を駆けめぐっております。民間感覚、市民目線で挑みます！



本号では調査の一部をご紹介します。是非、ご高覧ください！

市民の暮らしを取り巻く京都の身近な問題を、市議会で懸命に議論しています！

中面のご案内

議会活動報告

「これでいいの!?!」大切な税金の使い道を徹底調査！



国際都市・京都のための 1 利便性向上!?

四条通り歩道拡幅工事

2 「受動喫煙防止条例」の検討

3 ホール遊びもできない公園に待った!

4 上下水道局の名称変更 4.600万円!

5 地下鉄「終電延長」に向けて!

徹底調査し行政へ提案

6 使用されていない歩道橋の撤去を提案!

裏面のご案内

コラム

●「議会出身」の市長を訪ねて学ぶこと

●「地域政党サミット」を結成

●本年度も議員団団長に就任



京都党の生みの親 堀場雅夫最高顧問のご逝去

京都党の誕生の生みの親であり、創業ならぬ創業者の一人として多大なるご尽力を頂いた堀場最高顧問がご逝去されました。いつも、「おもしろおかしく」を原点に、例え話を交えられながら「難しいことを簡単に」お伝えくださり、明るく、想像力豊かで、常に優しく、時に厳しく、党を牽引していただきました。堀場最高顧問との貴重な時間を振り返る度、思わず涙が込み上げます。これからも永遠に、教えていただいた精神を心に焼き付けて政治に向き合う所存です。



堀場雅夫最高顧問米寿をお祝いする会にて

京都党とは



議員定数削減に伴う直接請求を実施!

地域政党「京都党」は、平成22年8月に前市会議員、企業経営者、元副市長、大学教授らと共に結党。地方主権で財源と権限の移譲が進む中、京都市の特色を活かすと共に、地域課題に根差した政策立案により、京都市政の新しい街づくりを目指す政党。

江村りさ事務所

〒616-8101 京都市右京区太秦和泉式部町13-2大村ビルB

TEL 075-354-6225 FAX 075-384-2020

E-mail emurar@nifty.com HP http://www.emurarisa.jp/

# 01 利便性向上！？ 四条通り歩道拡幅工事



平成26年末の工事着工と同時に、瞬く間に市民の大きな関心ごととなった四条通りの歩道拡幅事業。私の知りうる限り、そのご感想の多くは非常に批判的なものでした。

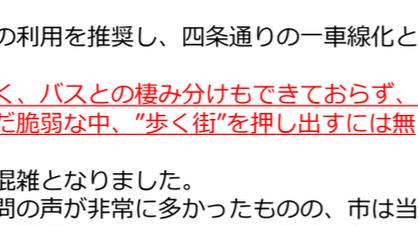
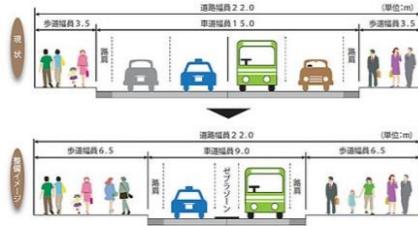
京都市は「歩くまち・京都」を基本軸に、市街地へのアクセスは車ではなく公共交通の利用を推奨し、四条通りの一車線化と歩道拡幅を進めました。

しかし、地下鉄の路線は少なく、バスとの棲み分けもできておらず、現状の交通インフラはまだ脆弱な中、“歩く街”を押し出すには無理があります。

そのため、四条通りは大変な混雑となりました。もともと市議会でも反対や疑問の声が多かったものの、市は当初「四条通の工事による大きな影響はない」と大渋滞を予想すらしていなかったのも根深い問題です。

この大渋滞を受けて、市の担当者へ改めて方針を見直せないかも含め、他の改善策としてせめてバスの追い越しができるようにすべき等の要望提案を行ないました。しかし、現状の工事計画では改善策も図れず、市民不満は拭えないまま工事が進んでいる状況です。

この歩道拡幅事業は、今後東大路まで伸ばすことも計画されていますが、今回の四条通りの状況を見れば、実行ありきではない丁寧な課題検証は必須です。いくら公共交通を利用する街づくりを目指すと言っても、市民生活に支障をきたしては意味がありません。市民生活や経済活動に悪影響を齎さない事業が成されるよう精力的に向き合います。



# 議会活動報告 納税者目線の「京都党」だから言える！

## 03 公園でのボール遊び禁止!? 極端な方針に待った！



京都市には881か所の公園がありますが、現在子どもがボールを使って自由に遊べるのは19か所(実に全体の約2.1%)しかありません。いったい何故か。理由は“他の利用者との事故リスクを避ける為”とのこと。確かに、安全を考慮すれば理解できないわけではありません。しかし、ただでさえ遊具はなくなり、砂場も使用禁止となり、子どもにとって公園の魅力が半減しているにも関わらず、ボール遊びを禁じれば、もはや子ども遊び場としての機能を失っているようにも感じます。もちろん公園は子どものためだけでなく、老若男女問わず憩いの場です。しかし、遊び場を失った子供は道端でボール遊びをし、さらに危険にさらされているとの話も耳にします。その為、以下の要望をしました。

- ①看板 「使用禁止」⇒「他人に迷惑をかけないように遊びましょう」
- ②ボールを使用できる曜日・時間を区切る
- ③やわらかいボールに使用を限定



東京都港区では改定済み。検討はこれからですが、モノを言える大人のためだけでない全体にとってより良い観点で向き合います。

## 04 上下水道局の名称変更 に4,600万円！？



京都市上下水道局では、来年度より名称変更といった案が出ています。その理由は、上下の“下”が、どことなく清潔感に欠けるため、といった話も耳にします。しかし、名称変更となれば看板更新や業務服のシール貼り付けなどに約4,600万円という経費がかかります。そもそも、組織や業務内容は変わらないのに、局名だけを変えることは非常に違和感があります。水道料金値上げに踏み込まざるを得ないほどの厳しい経営状況の中で、費用の使い方にはもっとシビアに向き合って当然です。そのうえで、市民のための喫緊の課題である水道管耐震化に使うべきであるとの見解を主張しました。

### 右京NEWS

### 京北地域の 学校統合において

京北が右京区に統合されて10年余り。統合されてからも一向に人口減少に歯止めがかからない京北地域では、児童数も減っていることから3小学校と1中学を統合した小中一貫学校の計画が成されています。しかし、一部地域からは、説明の機会もほとんど設けられず、8ヶ月という期間で進んだ統合話に「一方的かつ拙

## 05 地下鉄の終電延長に向けて！ 徹底調査し行政へ提案

全国の公営地下鉄の中で終電が一番早い京都市営地下鉄。JR大阪駅からは午後11時発の新快速に乗らないと、京都駅で烏丸線国際会館行き終電に間に合いません。経費との兼ね合いとはいえ、せめて他都市並みにはすべきで、利便性向上を図ることで利用者増につなげる策を打ち出すよう要求しました。

これに対し交通局は、7年半に渡り変わっていない終電時間を「何とか延長できるような局を挙げて考える」と重い腰を上げ、金曜日への延長など採算性を鑑みながら検証を開始しました。京都市民にとってより一層、利便性の高い交通インフラ整備に向けて今後も向き合います。



## 06 使用されていない歩道橋の 撤去を提案！

みなさんの地元でも利用されることを減多に見かけない錆びかかった歩道橋があるのではないのでしょうか。実は市内に40橋ある歩道橋は、その多くが、設置されてから40年近くが経ち、老朽化対策が経費面でなかなか追いつかないにも関わらず、撤去の決断がなされないまま取り残されている状況です。

そこで、市内に設置されている40橋の歩道橋をすべて調査し、一部は利用実態についても実地検証したうえで、時代と共に役割を終えた歩道橋は撤去を決断するよう議会にて徹底質問しました。当初行政は「一人でも利用者がいれば補修して残す」としていましたが、約1,000～1,500万円掛かる補修事業が老朽化に追い付いていないことや、そもそもバリアフリーでない、既に横断歩道が設置されている、歩道橋の柱により歩道幅員が狭い、視認性が悪いという弊害等を指摘。これにより、今後は利用実態に合わせ撤去することへ方針転換がなされました。

平成27年度 9,800万円の予算計上

撤去	成逸、堀川高校前、宝ヶ池
詳細設計	陶化、西陣、新宮

※この取組みはマスコミ等でも取り上げられました。



右京区・新宮歩道橋

## 02 国際都市・京都のための 「受動喫煙防止条例」の検討

他人の喫煙の煙から受ける健康被害をなくす受動喫煙防止条例をぜひとも取り入れていきたいという思いから、日本で初めて神奈川県において受動喫煙防止条例を制定した元神奈川県知事であり、現参議院議員松沢成文氏の元へ制定までの話を聞きに伺いました。



松沢成文参議院議員と面会

「受動喫煙による健康被害」

すぐにあらわれる症状	目の痛み、目がしみる、のどの痛み、咳 など
長期的な影響	肺がん、脳卒中、心筋梗塞、虚血性心疾患、喘息 など
妊婦、新生児の影響	流産、早産、乳幼児突然死症候群(SIDS)、新生児の低体重化 など

京都市では既に、屋外での喫煙禁止を一部で設けているため、その棲み分けも懸案事項ですが、さまざまな危険性が指摘されている受動喫煙の防止を単なる「マナーアップ」という一人一人の良識のみに委ねるだけでなく、観光、国際都市・京都として行政からの働きかけを目指します。

速過ぎる」と反対の声が上がっています。私にも複数の個人・グループの方からご相談がありました。児童数減に伴う学校統合は、限りある教育予算での運営上一定理解できることで、そのことはご相談の方にも説明しています。しかし、説明の機会があまりに少ないのは考え物です。実は学校統合の問題

は、これまでの事例でも言えることで、大変危惧しています。今回も統合校設置場所や事業体系など内容の多くが水面下で決まっているのではないかと住民からの不満が募っています。これに対し、「市民主導」と進めるとするならば、もっと説明と対話の機会を設けながら丁寧に進めていくよう教育委員会に求めました。